平成24年度在宅医療連携拠点事業 すさみ町(和歌山県)

国保すさみ病院高垣有作

すさみ町の概要



人口 4,876人

男 2,325人

女 2,551人

世帯数 2,367戸

高齢化率 40.9%

75歳以上 24.1%



すさみ町の課題

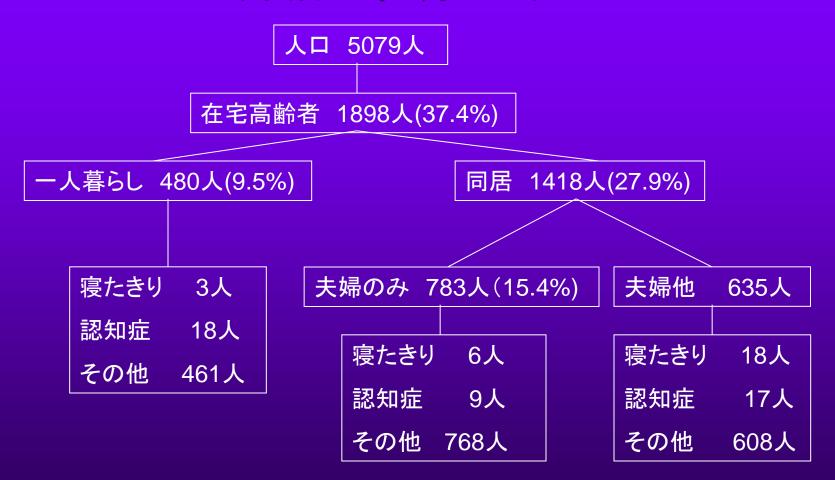
すさみ町は、典型的な中山間地域にあり、 人口は約5000人で、高齢化率は40%と高い

医療、介護、福祉に対する需要は年々増加している

医療、介護、福祉に提供できる人的資源は 限られている

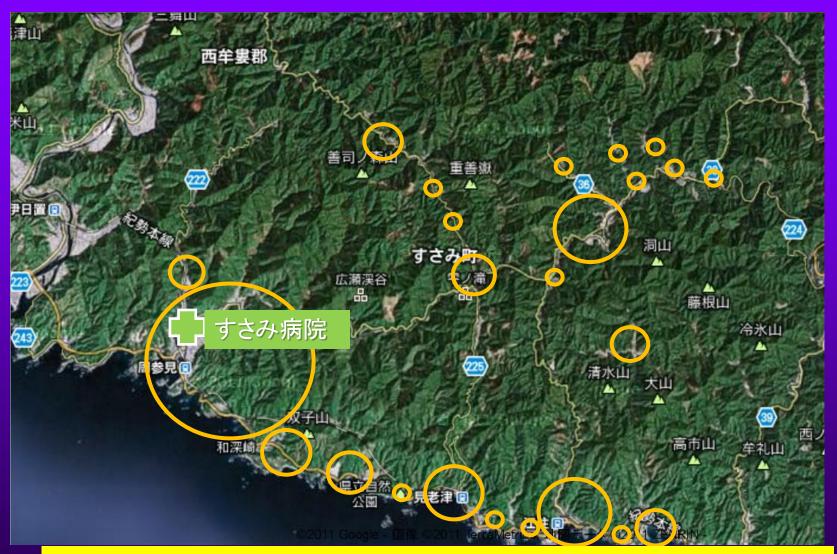
財政規模は小さい

すさみ町在宅高齢者人口(平成21年3月31日)



80歳以上の独居や慢性疾患患者などの在宅療養者の増加

すさみ町住民分布



中心市街地から放射線状に山間部に集落が点在する典型的な中山間地域

山間部集落の高齢者人口比率50%超過

サービス構築の目的

- ・現在、我が国は、世界で最も速い少子高齢化がすすむ国のひとつであり、 医療等を取り巻く環境は、急激に変化している。特に地方部での医療不足が 加速し、十分な医療サービスの提供が出来ない医療機関の増加や、介護従事者 やヘルパーの激減など、医療・介護・福祉体制の地域格差が問題視されている。
- ・本来、国民は、どこにいても、満足を得られる医療・介護・福祉サービスが提供され、安心して生活を送れるべきであり、現在、このような医療・介護業界の崩壊への早急な対応が求められている。
- ・中山間地域に位置し、過疎化、高齢化、医療・介護の資源不足という課題を 抱えるすさみ町は、今後の日本が突入する高齢化社会の一つの局面として 捉えることができる。
- ・このような地域での、ITを活用した見守りのあり方を確立することにより、 同様に資源が限定されている地方においての課題解決のみならず、 より汎用的な資源の最適化を考える上での、有効なモデルとして考えられる。

すさみ町地域見守り支援システム

①医療情報(CSI社 MIRAIs EX)



医師



看護師

入院、外来患者の 処方などの診療情報 を提供

ヘルパー

看護師

③健康診断・予防接種情報 (デジタルファイル)

健診情報、予防接種 施行情報などを提供





②在宅情報 (シャープ社 ザウルス)

癌末期 退院早期 介護·看護 見守り) 情報

4 緊急通報システム (日常生活活動情報)

一人暮らし高齢 者等を見守る。 屋内にセンサーを 設置し、異常時には 自動通報





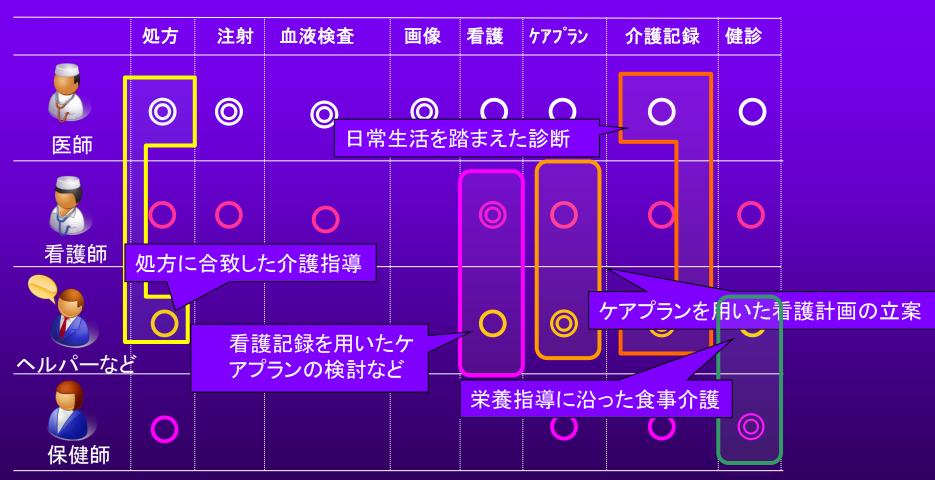
高齢者など

在宅患者・利用者の情報を提供

多職種間の情報共有

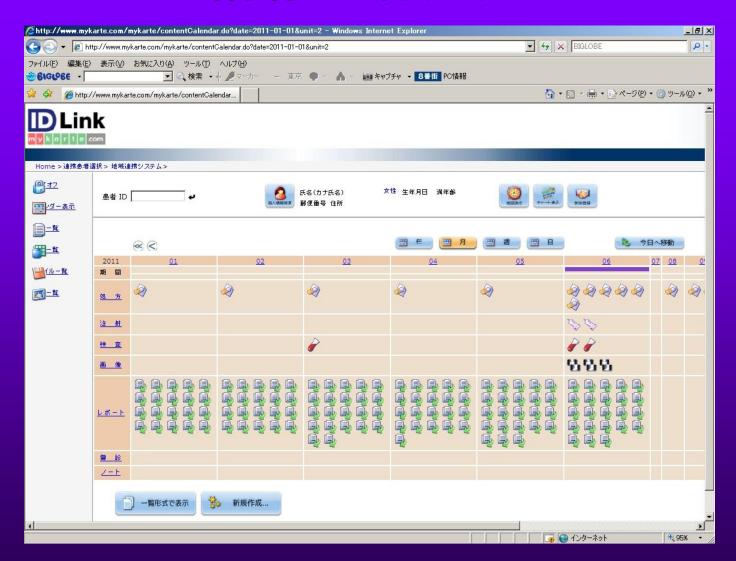
情報共有内容

オーダリング、専用端末で閲覧可能



※など医療・介護・福祉・健康に携わる関係者

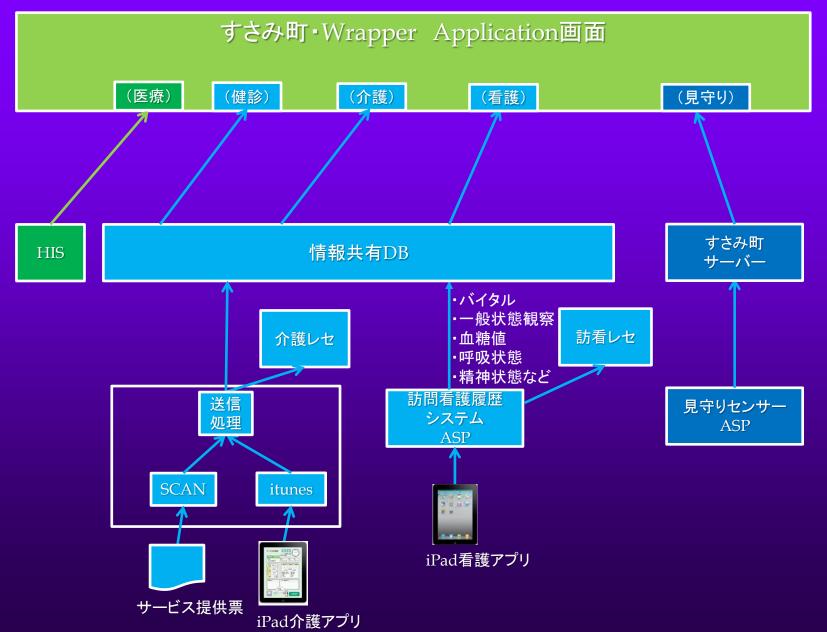
情報共有画面



時系列に詳細なデータが閲覧できるが、全体像が把握困難

すさみ町ラッパーアプリケーション実現方式

※最上位のラッパーアプリケーションに表示するデータの流れの案を以下に示す



ラッパー画面配置図



ラッパー画面



緊急通報システム(日常生活活動情報) (立山科学グループ緊急通報システム)



選定



支援 見守り



通報

相談



高齢者宅など

サービス事業者 民生委員(互助)

(昼間)

k

支援

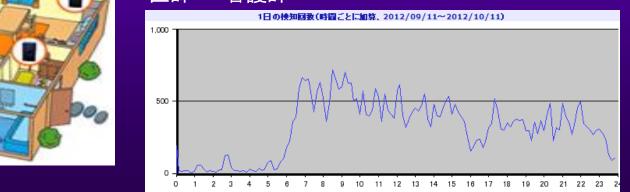


ヘルパーなど

(包括支援センター)

相談

医師 看護師



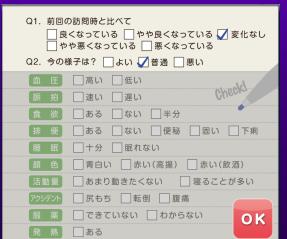
訪問介護

高齢者宅などに センサーやカメラを取り付ける。

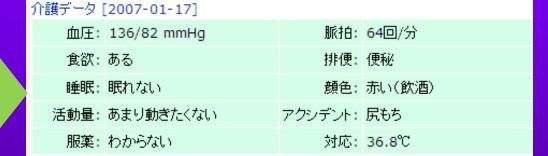


在宅看護・介護従事者の負担軽減





訪問介護



訪問介護員が訪問時に 携帯情報端末で入力

自動で情報共有データベースに出力自動で記録・レセプト請求を行う

ログアウト • 皮膚トラブル SPO2 睡眠 内服状况 回分 呼吸困難 休雨 ADI の変化 不整脈 痰の症状 排尿 精神状態 水分量 排便 浮雕 疼痛 拘縮 レスピレーターOK、ファインクラックル、カフ A状根膜 呼吸管理 清潔振助 排泄摄助 圧OK、酸素療法2.5l/min 5 % H トイレ介助、オムツ交換、浣腸20ml 动运动 食事援助 服業管理 指導支援 事態処置 部級処置 バルン管理 ターミナル ケア 栄養内容量80%。水分量100cc ■服薬管理 • -99 **国福創管理** 有度 注射 血糖管理 精神面管理 リハビリ 他職との連携 ケアマネ 問題点および判断 左 1 右 左 27日15時に佐藤先生指示。



訪問看護



訪問看護師が訪問時に携帯情報端末で入力

自動で情報共有データベースに出力 自動で記録・レセプト請求を行う

多職種間の連携

揭示板機能

掲示板機能 新規作成
-本日の作業について:医師-2012/11/20 返信
通常通りの作業を行います
Re.本日の作業について:看護師-2012/11/20
拭掃完了しました
問題なし
Re.本日の作業について:看護師-2012/11/20
体位変換しました
仰臥位⇒側臥位
+本日の作業について:医師-2012/11/20 返信
+本日の作業について:医師-2012/11/20 返信

ラッパー画面上に課題別 の掲示板機能を追加

課題の共有と意見交換 が可能

普及活動

啓蒙活動① 出前講義

- 2008年6月から開始
- 住民に医学知識を持ってもらい、自分の身体は 自分で守ることを目的とする
- 22回27地区(1年間)

634人参加

(人口5079人の12.5%)



啓蒙活動② 公報の利用

身近な話題を中心に医学知識を持ってもらうことを目標とする



費用

初期費用(開発費を含む):約2000万円

運営・維持費用:年間380万円

緊急通報システム:年間320万円

(1件あたり 1000円/月)

サーバー維持費 :年間68万円

現在、費用は自治体が負担しているが 緊急通報システムに関しては500円/月の自己負担

考察①

現在のすさみ町の高齢化率は2055年の日本の高齢化率と同率と推計されている

すさみ町の現状を改善するとともに、来るべき高齢化社会へ対応できるモデルの構築が必要

若干の改善は必要であるが、十分実用に耐えるシステムとなっている

このシステムを構築したことで、多職種間の連携が 緊密になったと同時に、構築にあたって、会合を くりかえしたことにより各部門の意思疎通が良好と なった

考察(2)

継続して運用できるように、運営・維持費用は可能な限り抑えたため、システムは必要最小限となっているが、オプションの増設が容易に行えるように設計している

初期費用はかかるものの、財政規模の小さい自治体でも継続運用は容易である

マイナンバーなどの導入は必要であるが、このシステムが複数地域で運用できれば、互いを連結することにより低価格でシステムダウンに強い広範囲なネットワークの構築が可能である

今後の展開

今回は、限られた施設のみでの情報共有であったが、外部の医療機関、介護機関などにも広げていく

和歌山県で平成24年度中に稼働予定の医療情報 共有・保全ネットワークに接続し、より広範囲での 情報共有を行っていく